* 韓国語を学んで韓国に行こう!
2001 年参加した高校生の手記

2001 年 12 月 18 日から 22 日、韓国の国際教育振興院（NIIED）の招聘により、韓国朝鮮語を学ぶ高校生 22 名と教員 5 名がソウルを訪れた。以下の文章は、参加した高校生の一人が記した手記からとったもの。

- 12 月 18 日［韓国の仁川国際］空港に着いたはいいけれど、恐ろしく広くて私の頭はパニック状態になってしまいました。はじめは一緒に行く人が目の前にいてもわからず、ずっとウロウロしていました……。夜 9 時ぐらいに外に出、地下鉄に乗って隣の駅のチャムシルまで行き、地下街を散策しました。駅ビルの中のようなお店は文字がハングルな所をぬかせば、日本と全く同じ様子でした……。
- 12 月 19 日 今日は私のもっとも恐れていたホームステイの日でした。言葉も分からないのに仲良くできるのでしょうか？……午前中の前半の韓国語の授業は残念ながらちんぷんかんぷんでした。先生はたまに指名して文章を読ませたので、当たりはしないかとドキ× 2 しました。角度の違う目から見た歴史の授業は興味深かったです。

チマチョゴリの着付け、韓国式中華料理の話がでたあとに、漢栄外国語高等学校につく
- ……サムルノリという伝統的な太鼓等の演奏……というかパフォーマンスを見せてくれました。とてもすばらしくて大音響が快感を呼ぶように思えました。……それからペアの発表でした。私は直前にペアの子が変わったので、余計に不安でした。あらためてペアになった子は日本語が上手だったので、私も一安心。
- ……家に荷物をおいて、今度は晩ご飯を食べにタクシーに乗ってデパートに行きました（一般庶民の私にはちょっとおそれおおいスケジュールでしょう？）……。晩ご飯は石焼きビビンパでした。私のあまり好きでない野菜も入っていましたが、「郷に入っては郷に従え」とばかりによくかき混ぜて食べたら美味しかったので嬉しかった。

- 12 月 20 日 （学校についたあと）すぐにお別れになってしまいちょっぴり悲しい気分に。

その後利川の陶芸、珍島犬、景福宮の話、貞洞劇場へいって公演を見たがサムルノリが一番好きだった話……。夜プルコギを食べたあと［#ye0a6202］
- 長渡さんについて東大門市場へ繰り出しました。それから 1 時間各自バラバラになって徘徊。……それでもかわいいチョッカラとスッカラをゲット！韓国語も少ししゃべれたし。

- 12 月 21 日 サッカー競技場に行き、電光掲示板に歓迎の文字が出たこと、山下先生が観客席を映すカメラに喜んで手を振り回す姿が印象的でした。
- ……お昼ご飯はみての通りピザでした。ファーストフードは久々でしたが、カルチャーショックは何気にいろいろありました。テーブルにつくとサラダ用のお皿がテーブル 1 つにつき 1 つで、ピザをのせる皿が人数分おいてありました。サラダは代表者がセルフサービスのカウンターで取ってくるらしい。そしてコップもすでに人数分おいてあり、ウェイ

トレスさんがコーラをピッチャーになみなみ入れてきて、どーんとおきました。炭酸もきれいでした。

- それからピザが運ばれてきましたが、でかい！！サイゼリヤのピザの 1.5 倍以上と見なしました。そういえば気づいてみると、テーブルにセッティングされてあるタバスコや粉チーズの入れ物もデカイ。……韓国人で肥満の人はついぞ見なかったのに、アメリカ人並の量を食べられるのでしょうか？……（ロッテワールド、自由行動）晩ご飯はちょっと横道に入った怖そうなお店に入りましたが、かえって人情味があって◎でした。
- 12 月 22 日 ……でも、富士山が見えると、日本なんだなって、しみじみ実感がわいてホットしました。この 4 泊 5 日間は私にとって生涯二度と得難い経験になりました。何を思ったかと言えば、私が全然韓国語をしゃべれなくて悔しい！ということでした。今度行くときまでにはもっと上達しなければならないと固く決心しています。近くて近すぎて、外国という実感があまりありませんでした。それが隣国なのかな……？でも新しくて美しい、そしてどこからでも山が見えて……と言うソウルはとても楽しかったです。またチェさん達に会いに行かなくちゃ！